

島根総合発展計画骨子案「政策展開の展望」に寄せられた意見

1 ホームページへの入力による意見	(10件)
2 メールによる意見	(10件)
3 郵送・FAXによる意見	(8件)
4 その他の方法による意見	(2件)
計	(30件)

1 ホームページへの入力による意見(10件)

原則として原文のまま

兵庫県、神戸市

- ・ 充実した就職先がなければ若者の島根への定着は期待できないだろう
- ・ 新卒の公務員を増やすべき
- ・ 島根は観光でがんばるしかないと思う
- ・ 愛郷心を植え付けるような教育方針を取り入れる

島根県、松江市

島根の展望と現状とはとてもかけ離れていくように思い、不安な気持ちになります。私も今出来る事をと考え、おたがいさまという活動を起こしました。誰もが助け合える関係を、この活動を通して、練習し、もう一度人との結びつきを造りつつあります。参加者の中には、高齢者の方もいらっしゃいます。私たちも元気を貰っています。これからは団塊世代の男性の方の参加で、歳をとっても楽しく暮らせる社会が、島根にはあると感じてくれればと思います。それを支えてくれる、子ども達が、帰って着たくなる為にも環境を整える為にも、就職先が増え、大学を出てから、島根に帰って住んでくれるといいなと思います。また JR の山陽や九州との行き来に少し便がたくさんあったり、時間が短縮になることで、島根にもたくさんの観光客を呼び込めるのではないかと思います。世界遺産の石見銀山や自然がたくさんある、この島根を、今住んでる人たちがどれだけ感じているのだろうかとも思います。島根のよさをもう一度見直し、アピールの方法を勉強すべきだと思います。

島根県、松江市

- イ) 島根の少子化対策はぬるすぎる。小学生までの医療費を無料にするくらいはやってほしい。バスも高齢者でなく子供を無料にした方がよい。全国一、子供に手厚い独自の政策を希望する。
- ロ) 交付税のために人口を増やしたいといっても誰でもいいというわけではない。高齢者にはそれなりに社会保障費を負担してもらわなければならない。また、高齢者が病院に行かない政策をとってほしい。具合が悪くて病院行っても元気な高齢者が集まっていてなかなか診察してもらえない。
- ハ) 農業へのばら撒き補助金は見直してほしい。ブランドのように発展が期待できるものも良いが、淘汰もやむおえない部分に支出する時期でない。そういうのは財政が潤ってからにしてほしい。離農による荒地で優良なものは農地バンクで安く買い叩いて転用・売却・貸与の管理を行ってほしい。それから、無理して山間地に人を縛り付ける必要はない。
- 二) 公共事業はまだ多い。今まで前倒しでやりすぎたのだから澄田さんの前のレベルにもっと減ってもいいはず。さんざん甘やかされてきた業界を手厚く保護する必要があるのかと思う。
- ホ) 職員の給与は全国最低レベルというが、若い優秀な人材が島根に戻ってくるよう若年者の給与はもっと高くてもよい。その分、島根の財政を悪化させた責任のある幹部や特別職のカットを増やして若年者にまわしてほしい。当時、財政政策を失敗した幹部や特別職の責任をこれから入ってくる若年者に押し付けるのはおかしい。

島根県、松江市

あまりにもきれいごとが多いような気がする。理想を持つことも大切だが、もう少し現実を見据えた方がよいと思う。

島根県、出雲市

1. 活力ある島根の実現 すべての格差をなくす。

(1) 労働格差

島根にも上場企業があるが役員と従業員、正社員と派遣社員の格差がひどい。現状ではだれもが活力をもって働くことはできない。仕事の内容が同じであれば正社員と派遣社員の処遇は同等にすべき。(小生の職場の前を毎日8時ごろ派遣社員を乗せたマイクロバスが通る。みなさんだれもがうつむいている。これだけ格差をつけられたら前向きで働く気もしないだろう)利益配分も役員報酬を減らし下部層にますなど見直しをする。

(2) 地域間格差

交通、文化、所得など格差がありすぎる。島根にいて歌舞伎やプロ野球を見るには泊りがけでいかなばならない。(東京、大阪では仕事が終わってからプロ野球を見に行くことができる)島根にいても都会と同条件で文化、スポーツに触れることができるようにする。

2. 安心して暮らせる島根の実現

お年寄りが増える今、お年寄りを巻き込む犯罪を防止する。悪質勧誘商法、振り込め詐欺など起こらないようにきめこまかくお年寄りとふれあう。

3. 心豊かな島根の実現

島根の良い自然、風土を生かし誰もが心豊かに暮らせる施策をする。

島根県、大田市

親が残した農地を何とか維持しようと、定年帰農・Uターンして、日々奮闘している者です。しかし、条件の悪い中山間地ではどう頑張ろうと効率が悪くて、採算はとれません。若い年代は生活のため勤めに出ます。各戸日曜百姓で飯米を作付して収穫しているだけです。高齢化して作付されない農地は荒れ放題です。荒れた農地・老朽化した施設を復旧するには大きな資金が必要になります。集落営農を叫ばれますが、条件の悪い集落ほど担い手・リーダーは不在です。条件の悪い集落では、どういうやり方をすれば、生活できる農業を営み、集落を維持できるのですか？それが分るような展望・計画・施策を示していただきたい。

島根県、浜田市

一 県民の意見

〔提案1〕基調をさらに明示的にする方法について

今回の「島根総合発展計画」は、島根を取り巻く情勢・環境が、全国的な人口減少・少子高齢社会の到来の時代になっていること、分権社会の進展と国・県・市町村の財政状況が変化していること、あるいは経済のグローバル化が進んでいくこと、そして安全安心についてや、環境問題の対応が強く求められること、さらに多様な価値観が共存する「成熟社会」へ入るなどの、新たな状況を直視したものとなっている。

このような状況で、島根地域がこれからいかなる基本姿勢・戦略視点で地域形成をはかってゆくのか、計画策定にあたって議論を進めながらイメージが共有されるようになった段階でもよいが、端的な基調となるような「タイトル」またはスローガンをつけてはどうだろうか。(ちなみ

に前回の「島根県総合計画」が、島根県の経済財政の位置が大きな曲がり角に入っていることを明示し、「自主的に発展できる快適で活力ある島根」を基本目標においていた。）

〔提案2〕政策の「基本姿勢」の明示化 協働・県民参画の位置

上記の基本姿勢のイメージがさらに明確になってゆくとすれば、それにそって「計画の基本姿勢」を第1章と第2章の間に短くても入れたらどうかと考える。溝口知事は着任前後から、「県民協働・県民参画」について繰り返し強調しておられた これを基調に取り込むこともそのひとつである。

〔提案3〕社会の基礎構造の変化を視野に入れる

人口減少・少子高齢社会の内実で殊に大切だと思われることは、家族や地域の基礎構造が変わるということである。家族規模の縮小による家族力の低下、それまであった地域コミュニティの共助・共済機能の低下（都市部の人間関係の希薄化と共に）、つまり「家族にやさしい」地域政策の視点、現代的な「コミュニティ」を再形成してゆく視点である。そのとき「県民協働」や「島根いきいき活動促進条例」のような新たな政策が（NPO活動のいっそうの振興を含めて）基礎自治体はもとより、地域に浸透してゆく必要があるということである。

〔提案4〕社会インフラの更新・維持の姿勢について

人口減少・少子高齢社会への対応は、近代日本がこれまで続けてきた人口増大・経済規模拡大を前提とした地域経営のあり方を大きく転換することを求めている。

集落のあり方をはじめ地域の人口構造が変化し、基準財政需要が変化するなかで、道路・橋梁・学校・医療をはじめ社会インフラを徐々に縮小しながら、基幹部分を維持・改善してゆくべきであり、そうした視点が盛り込まれるべきである。

〔提案5〕成熟社会における産業振興の視点について

産業振興については、現代においては、製造業・農林業を含めて・サービス経済化・第三次産業化という基本的傾向と、必ずしも大規模企業・事業所の力のみでなく、地域にある小規模経営・事業所の集積力、自己革新力が鍵となる。

文化・歴史・伝統を大切にした都市・農村の形成、景観保全と「創造」、「一流の田舎町づくり」という視点が大切であると思う。

これらは、今回の「骨子」に示されている、日本の先端をゆく「成熟社会」について、そののぞましいあり方とも合致したものと考える。

（以上）

〔蛇足〕用語の技術的な点についてご案内のように、社会保障関係・人口学会等では「高齢社会」と「高齢化社会」を区別した概念で議論するのが通常です。

島根県、益田市

島根総合発展計画には、「いじめ」についての記載はわずかながらあるものの、「島根の現状と課題」や今後の取組みである「基本目標」「取組みの方向」のどこにも「差別」や「人権」の文言すらありません。同和問題をはじめとする、あらゆる差別や人権確立に向けた今後の取組みについて、明記頂きたい。

宮崎県、日向市

人口減少が単に統計数値で語られる状況からこの土地では生活できない、と感じられる恐怖感に変わる日が訪れる。島根県に住む知人が話していたことです。自分に関係ないと思っている無関心な人が増えているように思います。

島根県、松江市

1．基本目標で、「心豊かな島根の実現：心の豊かさの重視、環境問題への認識の高まりなど、自然や歴史・文化を大切にする価値観が重んじられる現代は、島根の時代」と書かれているが、具体的な政策が見えない。環境重視は、単に環境だけではなく、産業や環境、暮らしやすさと一体化したものである。自然環境を守ることは、この地域の自然循環、人間社会の循環を総合的にとらえ、河川、湖沼、沿岸の環境を守る。ひいては漁業の振興、更に観光に結びつくことを念頭においた総合的施策が具体化されるべきである。

2．温暖化への対応が不十分：島根県は、森林が多い。また地産地消が可能で輸送のエネルギーが節約でき、安全な食べ物を供給できる。その点では有利性を持つ。しかし、ある程度の温暖化は避けられない。それを想定して、ヒートアイランド防止のできる都市緑化の推進、水の有効利用、水害防止、などを強力にすすめ、温暖化に先行して対応できる地域社会を作りたい。緑化や調整池、雨水浸透・利用などのシステムは定期的なメンテナンスが必要であるが、それが県内に雇用を生み出す。このような循環型社会を実現するための財源として、県内環境税を導入し、特にエネルギー多消費のクルマ社会からシフトすべきである。

3．原子力発電の長期的位置づけを明確にする必要がある。現在、原

発の存在は周辺市町にとって多大な財政を落とすが、万一のときの甚大かつ長期の被害、放射性廃棄物の問題などを考えると、長期的には原発依存から脱却する方向を目指すべきである。その方が、自然豊かな島根県の特徴を打ち出せる。原発は現時点では温暖化防止に一定の役割を果たしているが、その根本には、大量使用、大量廃棄の社会システムの延長にある。今後は、原発に象徴されるこの 20 世紀型の思想から脱却し、節度を持って自然と共生する社会を構築しないと長期的な人類の安全と繁栄は不可能である。そのような社会システム変革の思想を明確に、他地域に先行して打ち出すべきである。これが長期的な島根の繁栄に繋がる。

2 メールによる意見(10件)

原則として原文のまま

所在記載なし

担当者様「島根総合発展計画の政策展開に関する意見」を募集しているとのことで、HPに掲載されたPDFファイルを拝見しましたが、なんの目新しさもなく、何年も前から全国的に言われている問題点を寄せ集めて体裁よくまとめただけにしか感じません。ファイルの中で「島根」と書かれているところを他の都道府県名に変えても、全く違和感がないと思うのはわたしだけではないと思いますがいかがでしょうか？たとえば、18Pにある政策目標の根幹ともなるべき「島根が目指すべき将来像」について、「豊かな自然、文化、歴史の中で、県民誰もが誇りと自信を持てる、活力ある島根」とありますが、島根の部分が秋田だろうが、静岡だろうが、福井だろうがどこで使っても差しさわりのない、創造性のかげらもない目標にしか見えませんがいかがでしょうか？支出の抑制は赤字がどうにもならなくなってからやっと重い腰を上げはしたものの、財政が苦しいのは国が交付税を減額したからと言い訳をする。高速道路も空港も、他の県にあるから島根にもなきゃいやだという子供・…

70万人ちょっとで空港が3箇所もあるし、高速道路だって中国自動車道、山陽自動車道までつながってます。企業が来ない、若者が帰ってこないのは、あなたがた二番煎じの真似事しかできないからじゃないですか？

すでに市場が出来上がってるにもかかわらず、えらそうに「新たな政策を立案しました」なんて言っても、普通の企業なら見向きもしないのは当然だと思いますがいかがでしょうか？県民に意見を求めるなら、もう少し面白みのある方向性を示さないと、結局どこかの自治体でやった使い古しの「政策提言」みたいなものしか集まらないですよ。過去の「前例」を集めて整理し終わるころには、古典文学のようになっていたなんて笑い話みたいなことだけはやめていただきたい。あなたがたにこのようなメールを書いてもどうせ無駄かなとあきらめつつも、県民としてこれ以上、自己満足だけの行政でいて欲しくない…

〔 は、判読不明文字〕

島根県、浜田市

地方の行政は基本的に独立採算を求められる。

そのなかで、島根県の高齢化は全国でもTOPレベルにあり将来の税収入と現存の設備等の維持管理がどのようになるのか 200 億の税収不足が夕張市ようになってしまうものなのか、しっかりした現状からいるものいらないもののすみ分けを提示して島根総合発展計画への投資額を明確にする。

国より税収転換が出来ない以上は縮小均衡でいろいろなコスト低減、新規出費を無くし、内製での対応（公的無駄な外注作業の廃止や自治区の住民への作業願い）税負担低減のための活動（活動などで市町村から活動費用を負担してもらうのではなく、公共活動を自治区で代行して行い申請・活動しないと税負担が増える）って感じでそのなかで基本構想（H20～概ねH30年度）と実施計画（H20～22年度）の2層で提示して県民の合意を得る必要がある。

現時点の構想は総論賛成で各論反対になると思われる。中味が不透明で効果をどのレベルで達成とするのかも見えない。言葉でなく数値目標をおき目指すレベルを明確化してほしい。

所在記載なし

7月初旬、この計画に関し、県民からの回収したアンケートに意見を申します。20歳以上、3,000人余へアンケート送付。約48%の回答を得る。回答者は20～30歳台は18%、後は40歳台以上。この数字を見て、県民の意識・関心があまりにも低い。65%以上は期待したい。また、20～30歳台からの活力に満ちた声・意見を今後、活かして欲しいです。

以上

所在記載なし

子育ての里

人口減少の自治体に子育ての里をもうけてはどうか。

1. 乳幼児・児童を持つ夫婦および単親（シングル・マザー）のために子育ての時期を安心して過ごせる環境を用意し、出身地にこだわらず希望者に提供する。
2. その結果成長した子供たちはその自治体を故郷と感ずるはず。
3. 若年層である親たちはすでに人材・労働力ある場合もあるし、適切な支援と職業訓練が必要な場合もあろうが、人口減少地域には人口が増えること自体が有意義であろう。
4. 大規模な収容施設を建設する必要はなく、住居としては地域の空き家を提供できるのではないか。

5. 支援のネットワークを用意すると同時に、移住者の相互支援関係の形成を支援してはどうか。

所在記載なし

目線を県民の「皆様」に合わせればおのずと答えが出るのでは。記者会見などで「県民」の信頼回復より「県民の皆様」の信頼回復の方が響きがよいです。国も同じことが言えます。同じ人間です！？

島根県、松江市

ア) 行政の継続性の上にとって

示された「計画そしてその展望」さらに「第1回の会合の状況」について一読させていただきましたが、中・長期的な計画といってもこれまでの県政の流れの上にとつてのものでなければならぬと考えます。

首長の交代があっても、急激な方針転換や行政執行の急な舵取りがあってはならないと思います。

長期にわたつての多選首長が、自ら決すべき行政課題等を委員会・協議会等に諮問しての責任転嫁、迎合する取り巻き職員を重用した弊害とによって、国の補助制度があるとしての「箱物」等の公共事業優先、大型投資重視の姿勢が今日の財政逼迫状態を生起したとしても、それらを踏まえての方針転換や方向転換をすべきではないでしょうか。

「これまでは～であつたが、
～の情勢の変化や、これまで見られなかつた～が生起し、
～の情勢変化が予測されることから」など

十分でなかつたにしても、これまで継続してきた行政の上にとつた、反省・検証結果からの新しい方向性を模索し課題を検討し、今後の計画を協議・検討するものであるべきではないでしょうか。

首長交代。

途端に「唐突に」、「ご破算で願ひましては」、「白紙に返つて」的な計画策定には一考をと思つたのですが。

(前任首長の失政を揶揄し、指摘し というのでなく、轍を踏むべきところは踏み、踏んではならないところを見極めこれを回避する手法などを協議、検討し計画を)

イ) 住民意識・感情を把握して

〔第2章 島根を取り巻く情勢〕の「1 時代の潮流」の中の(1)から(6)までの項目中に「住民(県民)意識」についてなんら触れられていないのはまことに残念。

第1回の会合において、

「島根県総合計画」とせず、

あえて「県」をはずして「しまね」としたのは

“ 広く、県民が目標を共有する計画にしたいためであり ”

ということが述べられていながら、

住民の意識が従来よりどのように変化してきており、

今後どのように変化するのか、そのための

という視点がない。

近時、「道州制」なるものが議論されつつあるやに聞くが、いまだに「市町村合併」について検証されていない。

そろそろ、合併の功罪、メリット・デメリットが顕在化してきているものと考えられ、巷間そのような話が耳に入るようになってきた。

合併の当事者たる市町村においてはデメリット面は聞きたくない、見たくないところであろうと思いますし、消えた町村にあっては検証する術もないのであって、いまこそ、県において検証し、住民意識を把握し、その上での計画・構想それこそが「住民のための行政」の根幹部分になるのではないかと考えます。

県が、住民の視点にたつて、いまこそ合併の功罪を検証し、住民意識がいかかなものか把握し、県が手を差し伸べるところ、県が全体として計画し展開・実施すべきところはどこか、見極めていただきたい。

県民がこの計画目標を共有するためには、その意識の実態を見極めることが必要であり、住民参加意識の醸成のための対策が肝要ではないかと考えますが。(今後の道州制の検討に際しても意義あるものとかんがえます。)

ウ) 悲観的な現状の羅列からでなく

この計画・展望は、

「島根の持つ価値と潜在能力を最大限に活かし、島根らしい、島根ならではの発展を目指す」

とありますが、この計画の内容にはその点が欠落しているのではないかと考えます。

「2 島根の現状と課題」では、どの項目を見ても

「減少」「悪化」「全国平均を下回る」「格差の拡大」「低下傾向」とあり、

「3 島根の将来予測」においても「低下」「マイナス」「転落が危惧され」などと

まことに悲観的な現状が列記され課題とされ、まことに寂しい限りであ

ります。

- ・ 高速道路の、幹線道路の整備が遅れてきたからこそ、不便な地域だからこそ、通過交通もそれほど多くなく、都会化されず
- ・ 過疎だからこそ、山が・里が守られ、景観が守られ
- ・ 山あり、川あり、海ありの不便な地勢だからこそ、自然が、景観がそのまま残り
- ・ 地勢が東西に長いからこそ、岩礁あり砂浜ありという自然に富んだ海浜・海辺が連なり
- ・ 過疎だからこそ、空き家が点在し、都会人の「田舎回帰」「ふるさと回帰」のブームにうまくすれば
- ・ 高齢者が多いからこそ、今後「高齢者の楽園」を目指し
- ・ 全国一の数々の神話があり、今後どれだけ発見されるか解らないほどの隠れた遺跡があるからこそ、古代ロマンの「夢」が生まれ

と、地勢や豊かな自然、文化や歴史、民情などなど

他県にない、

島根だけにある価値、魅力、潜在能力など「プラス面」に着目した発展・進展を模索すること

を課題にしていきたいと思いますと考えます。

工) 総合的な計画と地域的な計画を

「総合発展計画」ということで県域全体に共通する計画になりがちと考えられますが、県域は広く長く、地域的に特色ある事象も多くあると考えられますので、全県的な計画とともに出雲、石見、隠岐と大別した地域的な発展計画の検討・策定にも配意していきたいと思いますと考えます。

「今後の詳細な計画書(案)についても 意見を募集する予定」とありますが、各般にわたる膨大なものになるものと考えられますので、募集期間を長く設定しての募集に期待しています。

(この他、同じ意見を手紙で2件頂きました)

所在記載なし

国の交付金を頼りにしなければならない財政事情ではこれからの島根を発展させていく方法を考えるのは非常に困難なことだと思います。

収入を増やすか支出を減ずるかしかないと思えます。

支出を減ずるには先ず人件費の削減が考えられるのではないのでしょうか。

私は以前国家公務員として勤務していたのですが、勤めて10年ぐら

いして県に勤める友人に月収や勤務時間、普段の勤務体制を聞いて、自分と比較して金額、超勤時間、休暇のとり方等あまりの差に驚かされ、ものすごくうらやましかったのを今でも忘れません。

定員削減、手当ての見直し、給与の削減はできるかどうかではなく、しなければならぬ案件と考えます。

収入を増やす方法としては年間を通じて風が吹いているこの地域において風力発電の開発は考えられなければならない問題ではないでしょうか。

景観の保持も考えるべきとは思いますが、県民は生活しなければならないのが一番ではないでしょうか。

交付金や観光収入に頼るのではなく、やはり自分らで収入を増やし支出を抑えるべきと考えます。

最後に意見募集はよいことだと考えますが、期間を短くして項目ごとに募集されるともつといろいろな意見が聞けるのではないのでしょうか。まとめるのが大変とは思いますが。

島根県、松江市

私は約2年半前に東京からUターンしました。人生の後半をふるさと島根で過ごそうと考え、またかねてから考えていた「他人の為に自分は何ができるか」を実践したかったからです。

さて「島根総合発展計画」を見せて頂き、私なりの感想と日頃考えている意見を多少述べさせて頂きます。その中で財務状況の健全化はもう待ったなしの状況であると理解できますが、その危機感について、いまひとつ県民の眼を感じる事ができません。島根は従前より公共事業が基幹産業といわれるくらい行政主導型の経済だったと思います。その事により「民」の立場での自立心あるいは自律心が損なわれ「甘えの構造」があるような気がします。特に農業等の一次産業に対する補助金・助成金は何かあればすぐ手を差し出してそれを要求すると言った姿勢が見られます。またその事に対する成果・効果についても程度の差こそあれ追跡の管理が行き届いていないような気がします。これと言った産業の少ない島根において農業は大きな産業基盤のはずですが、農家の農業所得が全国平均の3分の1となればやはり知恵と工夫が必要だと思います。唐突な言い方かもしれませんが、いずれにしても人材が必要であると考えます。笑い話ではありませんが高校の同窓会を開いた際、かつて優秀であると言われた連中はその殆どが大都市で生活しており残っている連中は一体何なんだ、と言う話が有りそれがまた他の同窓会でも同様な話が

有ったという笑ってばかりはられないような事が有りました。人材の育成は急務であると同時に一朝一夕でできるものでないでしょうから、島根から頭脳流出をしている即戦力となりうる人間を確保し、受け皿を作ることにより物の見方、切り口の違う企画、対策ができるのではないかと思います。Uターンを希望している県出身者は沢山いると思います。これはふるさと納税制度ともある意味リンクしていると思います。いずれにしても文化を変えようとする事がひとつの切り口ではないかと考えます。島根の同胞による強力なリーダーシップ、また同時にまず危機感の醸成が必要だと思います。

さて、日頃私が思っていることを何点か申し上げたいと思います。もっとも本人はいたって真面目に考えていますが、サル知恵に近いかもしれません。(笑)

1. 農業について

食の安心・安全に徹底して対応差別化した、農産物を作り島根ブランドとする。現在の有機農産物は農産物全体の0.16%と言う状況はビジネスチャンスだと思います。東京にいるときに何度か県の物産展に行きましたが、非常にプレゼン、セールスプロモーションが下手で寂しい思いを何度かしました、現在はそうではないかもしれませんが強化、工夫が必要だと思います。また流通の見直し、「島根県産」の認知度向上とエコ農法等の情宣活動、啓発活動がかなり必要だと思います。野菜等見かけより中身でアピールする事により商品としての歩留まりも良くなり生産意欲も増加すると考えられます。

2. 高齢化の対応

元気な年寄りを作る。かつてベトナムを旅行したとき日本人向け老人コロニーを建設中という話を聞きなるほどと思った事があります。既存の公共施設等(たとえば廃校)を活用し何か長期滞在型(夏季限定とか)の生きがい施設を作り、元気な年寄りとして過ごしてもらい、できれば県外からも来てもらえるようなものはできないでしょうか。健康保険の抑制になるような気もします。

3. 空き家情報の充実

4、5年前に私が土地付きの古民家を捜したときに島根は殆ど物件もなく、また行政も斡旋等の場が有りませんでした。当時広島県では各市町村に担当者が居て現地でもきちんと対応していただきかなり見て歩きました。島根では人に家を貸すことによりかなり抵抗があったようですが、都会では田舎に住んでちょっとだけ農業をやってみたい人間は沢山の需要は有ると考えられます、確か東京青山のハローワークには就農斡旋

のコーナーがあると聞いた事があります。長期滞在型の空き家の斡旋は地域の活性化にも繋がると思います。

4．環境保全

地球温暖化対策として排出権ビジネスを国内で取引できないだろうかと考えます。都市部に本拠を置く製造業、運輸業に課せられた（現在EU諸国では企業ごと、日本は未）温室効果ガス削減に森林面積80%の島根県として何か取引はできないでしょうか。また休耕田を利用してケナフ等を栽培する事により効果に対する明確な数字は出せますし、ケナフそのものをパルプ材の代替として有効利用すれば地球規模での砂漠化対策にも繋がると考えられます。但しケナフについては生態系保護の問題があるかもしれません。CO₂の削減に効果のあるといわれるパーム油燃料の輸入基地を、たとえば浜田港に造り全国へ配送できれば、地域活性化、環境保全、山陰道の活用に寄与できると思います。実際に石油メーカーが輸入基地をあちこち検討しているという事は聞いた事が有ります。

5．特別景観税？

島根の財産である豊かな自然景観を壊している超特別高圧電力線および鉄塔設備について受益者負担の考えに基づいて課税する。

6．公共施設の運用

公共施設の充実度はかなり高いが、その運用について更にきめの細かい点検と有効利活用の再考が必要と思います。勿論福祉等の一概に収支のみを前面に出すべきではないものも沢山あるとは思いますが。たとえば県立プールの場合、健康増進のため歩行利用しようとしても会社帰りには時間的に無理が有り、また料金設定も常時使用するには高額で気軽に利用できません。今までの経験だと1時間いくらと言うような料金体系だと利用者も増えるのではないかと思います。

以上思いつくまま書いてしまいました。失笑を買うような事だろうと思いますが、一人称で考え県内在住者だけではなく、しまねファンクラブを創ることができれば観光客のリピーターも増えると思いますが、まず財務基盤がしっかりできてこそ他の施策も生きてくると考えます。

島根県、浜田市

「しまね総合発展計画」に関して、愚見を述べさせていただきます。

委員のどなたかが、刑務所云々という極端な例を挙げて提言されましたが、この際、思い切った発想の転換が必要ではないかという意味においては同意見です。

豊かな森林資源、水産資源を持つのなら、堂々と農林立県、水産立県を目指すべきではないかと思います。

まず、基本目標の中で気になりますのが、「活力あるしまね」「安心して暮らせるしまね」「心豊かなしまね」という順番です。活力はあるけれど、安心でも心豊かでもない地域はたくさんあります。心豊か 安心 活力の優先順位でモノを考えるべきではありませんまいか。自然と向き合う暮らしによって豊かになる。これが真の豊かさでありましょう。そして、それは同時に活力も安心ももたらすはずです。どうか、農林業や水産業で豊かになれるためには、どうしたらいいかに知恵をしばっていただきたいと思います。「賃金水準が低いからこそ島根で人を雇って会社がやれる。」そんな考えの商売人を誘致したり肩入れしたところで、真に県民のためにはなりませんまい。

次に、各企業及び業種・業界に対しては、労働関係法に対するコンプライアンス意識を高めることを要請し、以下について、その具体的な対策や計画の提出を求めることを徹底していただきたいと思います。労働者の生活を護ることは、地域の活力の源です。

- ・賃下げ、退職金の減額・廃止、サービス残業の強要、休日の日数・労働時間や福利厚生などの改悪など、労働条件の一方的不利益変更を根絶すること。
- ・有給休暇・育児休暇等がとりやすい社風・雰囲気作りに努めること。
- ・セクシャルハラスメント、パワーハラスメントを許さない環境を整備すること。

また、特に製造業など、厳しい経営環境にある零細企業については、その倒産・解雇を防ぐため、県として積極的に必要な対策を講じ、支援の手を差し伸べていただきたいと思います。何かがあれば、必ずどこかが護ってくれる。会社が護ってくれなければ市が護ってくれる。市に力が無ければ県がやってくれる。そんな風土でなければ、人は腰を据えて産業を営むことも叶いませんまい。

最後に、個人的な事情の話をしていただきますが、私は3年ほど前に大阪からUターンしました。ここで見つけた企業に2年半努めました。先日退職し、現在は就農を志して活動中です。ネット販売で莫大な売り上げを誇る会社でしたが、企業間競争の名の下、従業員の幸せが一番最後に回されるような労働環境でした。浜田市内の中小企業では、どこでも同様の話を耳にします。外面はよくても従業員が長続きしない、このような会社ばかりならば、勤め人として明るい未来を共有することは困難です。雇用対策ももちろん必要ですが、就農・就林・就漁による

独立支援体制をもっと充実させていただきたいと思います。独立という敷居が少しでも低くなり、またそれが広まれば、I/J/U ターン者、新規就農者等も増え、新たな活気が生まれることでしょう。〈以上〉

所在記載なし

先に財政健全化についても打ち出されていましたがまず財政再建団体になっては独自の施策はできないので財政健全化計画が、総合発展計画のなかで先行優先されるのではないかとと思う次第ですがいかがでしょう。

道州制はまだ良くわからないが、実施された場合に総合発展計画という長期の計画は維持継続されるでしょうか？道州制になった場合、別の計画に変わるのではないかといった見通しが不透明な面があり、その場合の対応を PPA（事前検討）してはいかがでしょう？

将来像に人口を増やすといった内容がないが究極的には人口増ではないかと思います。したがって人口減を是認せずあえて増やすといった目標は立てられないでしょうか？

安全については全国に劣る防犯に重点を置いてはどうか。最近の非人間的な犯罪を見ると大変不安を感じるが「安心して暮らせる島根実現」では項目として挙げていない。

「活力ある島根」では産業に力を入れるが、島根では常々ものづくりを知らない、認識が低いと感じる。県の産業試験設備なども不十分で、他県に見劣りはなはだしい。「企業の声」に耳を傾けていただきたい。(単なる補助金くださいといった要望は問題外)以前試験設備の方針を県(あるいは財団だったか?)にお聞きしたところ廻りの県と役割分担しているため島根県には置かないといった回答をいただいたがこれでは開発などできない。現代は品質を満たさないものは販売できない。品質は試験しないと保証できない、だから試験設備は必須だが非常に高価である。にもかかわらず確認試験なので常時使用するわけでもない。だから会社単位では導入しにくい。従来地元資源(鉄、かわら、ゼオライトなど)関連産業に力を入れてきたが、これでは UI ターンは望めない。このような分野についている人は限られるからだ。ソフトや電子産業を定着させれば UI ターンしやすくなるだろう。重要なのは販路だ。いくら技術があっても売れなければ成り立たない。島根県のブレインの方などの力を生かし、とにかく販売力(営業力)が結果を左右すると思われる。

「心豊かな島根実現」では島根の優れた歴史・文化とあるが歴史や文化がなぜ大事なのかということが非常に不明確で、十分に教育・周知さ

れていないと思われる．その一方で県は多額の資金をこの分野に投入している．(歴史から何を得るのか，文化とは何かこれがわかるようならばある意味，心豊かといえるだろう)

3 郵送・FAXによる意見(8件)

原則として原文のまま

島根県、出雲市

財政健全化のため、事業見直しの具体案が何ら示されていない。

所在記載なし

- ア) 人口減少と高齢化の進行又一人世帯も増えており、集落機能の維持が困難となりつつある。地域によっては住まいの集合化を図る必要があると考えられる。
- イ) 命の大切さ、人へのやさしさが段々と薄れつつある。金さえあればとの考えが多いように思われ、教育へもっともっと取り入れる必要があると考える。
- ウ) 水田の保水力は災害防止に大きな力があると考えられる。林業をからめ支援策が必要ではないか。
- エ) 高齢者の活動域を拡大する方策を具体化させ、その経済力、元気を大いに利用する。
- オ) 計画を推進するための県の基本姿勢のうち、迅速に活動できる組織の構築、時代の変化に対応できる活動的な組織の構築、柔軟に対応ができる組織は最も必要なものであると考えます。
- カ) 財政健全化に向け徹底した改革の推進に当たり、職員の意欲を失わせることのないように願います。

所在記載なし

ホームページで県の新しい計画を拝見し、筆を執らせていただきました。

若者を引きつける取組を進める点は、大変に重要なことだと思います。なぜもっと早くこのことに真剣に取り組まれなかったのか、残念にさえ思えます。

島根県は、子供が育つするには大変に恵まれた環境ではないかと思えます。また、学校の先生方も子供たちのことを真剣に考えていただき、献身的に働いておられるように感じています。

けれども、高校を卒業すると全員いなくなったのかと思うほど若い人たちが県外に出ていってしまうのです。そして、そのまま大都市の住人になってしまいます。

島根県で育った若者が島根に帰りたくても、働く場が圧倒的に少ないことから帰れない、ということは悲しむべきことではないでしょうか。彼らのほとんどは、生まれ育ったこの土地を本当に気に入っているのではないのでしょうか。

最近、子どもが住む都会に行ってきました。喧噪が苦手な私にさえ、都会の豊かさと活気は大変好ましいもののように感じられました。いくら生まれ育った島根が好きな人でも、とりわけ若者には、こうした大都会の便利さと楽しさを味わってしまえば、もう島根には帰りたくない、と心変わりするのにそう長い時間は要らないようにも感じました。島根への帰途、常に新しい刺激を提供し続ける大都市の吸引力に抗う手だてがあるのだろうか、自分自身、本当に心から子供達に自信を持って「きっと自分に合う職場があるから必ず帰っておいで」とは言えないなあ、と思うと気が重くなるようでした。

県庁にばかり頼るようなことではないかもしれませんが、これからこの計画で若者を引き戻すような取組が力強く動き出すことを期待しています。

所在記載なし

ア) 雇用問題について

島根県内の若者は、県外の大学に進学して県外で就職して帰って来ないのは、島根県に魅力ある働き場が少ないからだと思う。もっと都会から企業を入れる努力をされたら如何であろうか。

イ) 少子化について

島根県の賃金は全国平均より低い。収入がすくないため若者も結婚できない状態だと思う。賃金を引き上げないと、益々少子化に陥る気がする。

ウ) 観光について

道路の整備を良くすれば、今後一層観光面ではプラスになると感じる。例えば松江市大庭町は、これこそ「豊かな自然、文化、歴史」に恵まれた場所である。神話の国、神のふる里と言われる程である。国宝に指定されている神魂神社 風土記の丘 八重垣と観光ルートがつながっている。普通なら 分で通れるコースだが県道の道幅がせまく、歩道もなく、観光バスは、五倍の路程を遠回りしている。お粗末な県道である。神話の国にふさわしい県道に早急にされたら一層観光客も増えると確信する。一人旅の人ものどかに見学して歩けるよう歩道もつけられたら個人観光も増えると思う。

エ) 教育問題について

学校とは何かを考えるべきだ。学校とは学力を身につけ学ぶところであるのに、現在の風潮は何もかにも学校の責任、または地域の責任に押しつけてしまう。

いじめ、又、色々と問題を起こす子供等の根元は親の責任である。親の子供への躱け方に問題あり招いた結果的なものである。幼い頃から親が躱けをしなくてはいけない。

基本的な習慣、挨拶、お早よう、ありがとう、ごめんなさい、等々素直に言える子供、又、人への思いやり、我慢する強い心、これ等は全部、根元は親の育て方にある。幼い頃よりしっかりと親としての当たり前の育て方をしていれば、子供は立派に育つものである。今からでも親の教育をするのが誠に大切だと痛感している。

オ) 高齢者対策について

郊外の高齢者、僻地の高齢者は町の中心部にどんどん出すことである。その為に小回りの効くシルバー車、乗り降り自由にできるようにすれば、高齢者同志友達となって出て行かれると思う。乗り物が無くて家に閉じこもっていても対策にならない。どんどん出す事に依って足、腰も強くなり世間もわかり楽しくなる。医者通いも少なくなれば医療費も少なくなるし、お店で買い物すれば町の活性化につながると思う。高齢者の中には裕福な人もいっぱいいる筈であると思うが如何なものやら。

島根県、松江市

県民の目線に立った新たな発想での見直しを期待します。

- ア) 国の借金は 800 兆円、地方も 200 兆円を越えて、更に凄まじい勢いで増加しています。地方自治体も親への依存体質を減らす努力をして下さい。
- イ) 県民一人当たりの借金が全国ワーストワンです。箱物行政を一刻も早く見直して、真に優先する社会資本の整備のみを地元業者を優先に発注して下さい。
- ウ) 4月に改選されたばかりの県議の資質及び議会の厳しさが不足しています。(別紙参照「ズレを覚えた県議会審議」)緊張した議会にするため、質問者を限定するだけでなく(事前に準備された資料を双方が読むだけの劇場形式)一問一答方式で他の議員も絶えずテーマに参画し意見交換が活発に行われるようにして下さい。
- エ) 県の人事院勧告は、国イコールでは無く、地域の民間企業(中・小

零細企業を含む)の実態に合わせて下さい。そして市町村にも同様の指導を行い、お役所(OBを含む)中心の県にしないで下さい。

身分の安定性・業績に関係なく受け取る給料・民間企業平均の二倍のボーナス・高福祉関係・高額な退職金 等々

オ) 若者の県外流出が止まりません。県内へ帰って来れる条件造りを本気で行って下さい。そして収入は多少低くても住みやすい県造りを進めて下さい。

島根県、松江市

基本目標 「安心して暮らせるしまねの実現」

温もりのある人間関係、そして人種差別、女性差別、心身障害者差別、老人差別、被差別部落への差別を許さない思いやりのある人間関係や、安心、安全の確保に向けた県内各地域での活動の高まりは、大きな原動力

基本目標 「心豊かなしまねの実現」

ふるさとの誇りや、人種差別、女性差別、心身障害差別、老人差別、被差別部落への差別を許さないという、他者を思いやるという人づくりにより、島根ならではの地域づくりを目指す。

上記 人権を大切に、差別を許さない県を実現して頂きたく、その目標の中に、より具体的に明記して下さいますよう希望いたします。

島根県、浜田市

政策展開の展望について 1つ1つの取り組み・方針 島根の将来予測! 安心して暮らせる島根の実現 21世紀は人権の世紀といわれているのに「取り組みの方向」のどこにも「差別」や「人権」の文言すら出ていません。いままで一生懸命たくさんの人々の苦労や努力は、どうなるのでしょうか。

まだまだ、いろいろな差別を受けて苦しんで、生・死を考えている人がいるそんな現状がたくさんあります。

「人権確立」・「部落問題の解決」是非盛り込んで頂けるよう心よりお願い致します。

島根県、松江市

早速ですが総合発展計画の中で県内企業の製品開発力の強化...プラン

ド製品...に関してお願いですが、昨年の六月頃だと思いますが陶芸の指導を五カ所で行っております中で特に厚生センター、デイサービスらくざんで必要性を感じて試作器を二代目を作りつつありますが、北陵町の振興財団の　　さんとか　　さんに県の紹介でお逢いして試作一号と云いましょうか原始的なものを持参して、何らかの支援を得たいとお願いしましたが、その後の進展も無く現在に　　って居ります。その試作器は不自由なお体で陶芸をやりたい人の不自由な手の方の介助といたしますか。その試作器を使う事によって両手が使える事が二人ほどの方に利用して貰った結果と普通の人でも初心者にも非常に有効な事がわかりましたので特許でもと思う中から大阪の　　弁理士さん（知り合い）からも推められては居りますが、料金等の面で私の財政では不可能です。そこで財団でも申し上げましたが特許権はいりません、共同開発でもできる処があればとお願いして置きましたが今の処何の事もありません。そこでお願いですが地元産業を主体に、私のような物好きで色々考えて居られる方々が多々あると思います。私も他に三点位ありますし、そのような方々の為にも、又県発展の為にも、県の指導の元、研究グループのような形のあるものを作って頂いても如何なものかと思えます。東京都内でこのようなグループがあり、活躍して居られるのをテレビで見た事があります。是非ご検討くださいますようお願いいたします。

〔　　は、判読不明文字、個人名は　　とさせていただきます〕

4 その他の方法による意見(2件)

電話による受付は、件数が多い場合は対応が困難となるため、また、正確な意見聴取できない恐れがあるため、実施しませんでした。次のような意見が寄せられました。なお、意見内容は担当者が電話でお聞きした内容をまとめたものであるため、表現等が不正確な場合があることをご了解願います。

所在不明

まず、すべての県民が「活力あるしまね」といわれるようにお金を儲けていくことはできない。そこそこ食べていけるような、県政運営をすべきだ。また、無駄遣いが多すぎる。水森税が導入されたが、森林に対してお金をつぎ込むのは無駄だ。税金を使って植林をしてきているが、材木の価格が下がっているのだから、儲からない。森林はほっとけばいい。

また、中山間地域研究センターでいのししの被害を防ぐ研究とかしているが、実際に農家の人がある方法をあぜ道に施すのは大変でできない。現実をもっと考えたやり方を考えるべきだ。

いのしし等の被害は、狩猟が減ってきているからだ。必ずしも行政の問題ではないが、免許等をとるのにお金がかかる。もっと規制緩和を図るべきだ。

担い手については、大規模農家に集中した施策を行っているが、小さい農家も大切にしてお金を儲けていけるような施策を行うべきだ。

いずれにしても、行政と教育が大切だ。きちんとしてほしい。

所在不明

米子と安来を連なる地下街をつくってはどうか。

防災のため

原子力発電所の活断層を調査すべきだ

地球温暖化による高温の日が続くため

もっと東部に力をいれるべきだ

米子と安来、島根と鳥取の連携を図る

米子・安来間の高速道路をつくってよくなった